

EU Indicators

発表日: 2024年11月1日(金)

欧州経済指標コメント: 10月ユーロ圏消費者物価

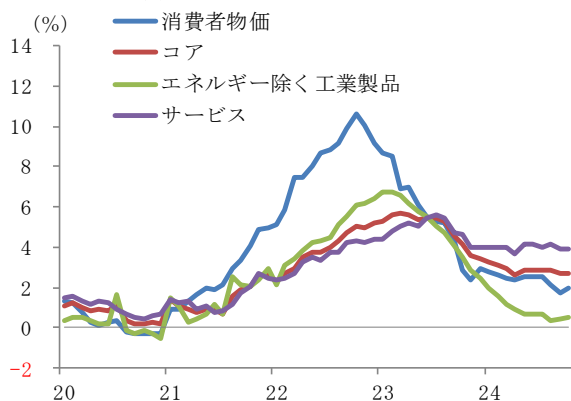
～束の間の2%割れ～

第一生命経済研究所 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 050-5474-7494)

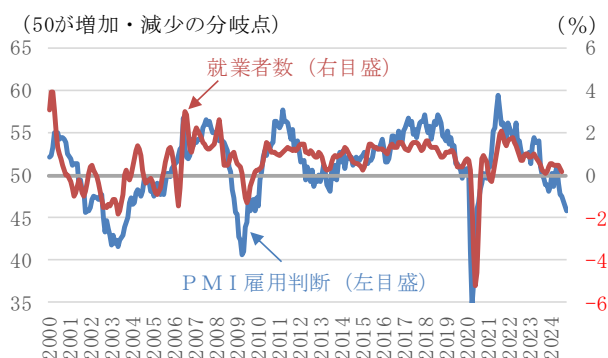
- 10月31日に発表された10月のユーロ圏の消費者物価の速報値は、前年比+2.0%と前月の同+1.7%（前月速報時点の同+1.8%が確報で下方修正）から上昇率が再加速した。内訳は、前月の上昇率鈍化を主導したエネルギー価格（前月：同▲6.1%→今月：同▲4.6%）の下落率が縮小したほか、生鮮食品価格の上昇加速を背景に食料・アルコール飲料・たばこ価格（同+2.4%→同+2.9%）の上昇率が加速した一方、変動の大きい食料・エネルギー・アルコール飲料、たばこを除いたコア物価（同+2.7%→同+2.7%）は前月と同程度の上昇率にとどまった。
- 速報段階で入手可能なコア物価の内訳は、エネルギーを除く工業製品（同+0.4%→同+0.5%）の上昇率が僅かに再加速。高止まりが続くサービス価格（同+3.9%→同+3.9%）は、パリ五輪開催中の押し上げ剥落で前月に上昇率がやや鈍化したが、今月も同じ水準を維持した。細かい内訳は現時点で確認できないが、前月の上昇率鈍化は月毎の変動が大きいパッケージ旅行の大幅下落が影響しており、今月も前月並みの上昇率となったことから、サービス価格の基調がやや鈍化してきている可能性が示唆される。国別の詳報からは、衣料品価格の上昇がコア物価の押し上げに働いた模様。来月以降は前年同月の上昇率鈍化の裏が出ることから、ヘッドライン・コア物価ともに上昇率が一段と再加速する公算が大きい。その後、来年に入ると再び上昇率が鈍化に向かう展開を予想する。
- 同日発表された9月のユーロ圏の失業率は6.3%と下方修正された前月から不変で、ユーロ圏発足以来の過去最低を更新した。南欧諸国を中心に人手不足が続いているが、PMIの雇用判断が増加・減少の分岐点である50を割り込み、労働需給の逼迫緩和が予想される。なかでも過去2ヶ月のドイツの雇用判断の落ち込みが大きい。過去の物価高を反映した高めの賃上げ妥結が続くなか、サービス物価の高止まりが続いているが、そうした状況にも徐々に変化が現れつつある。

■ユーロ圏: 消費者物価（前年比）



出所: Eurostat

■ドイツ: 就業者数とPMIの雇用判断



注: 就業者数は3ヶ月移動平均値の3ヶ月前比年率値

出所: ドイツ統計局、S&P Global

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2023				2024				2023												2024											
	4Q	1Q	2Q	3Q	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月						
消費者物価	0.3	0.7	0.6	0.5	0.0	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	-0.0	0.3																	
(前期比)																																
(前年比)	2.7	2.6	2.5	2.2	2.9	2.8	2.6	2.4	2.4	2.6	2.5	2.6	2.2	1.7	2.0																	
コア消費者物価	3.7	3.1	2.8	2.8	3.4	3.3	3.1	2.9	2.7	2.9	2.9	2.9	2.8	2.7	2.7																	
(前年比)																																
食料/アルコール/たばこ	6.8	4.0	2.6	2.3	6.1	5.6	3.9	2.6	2.8	2.6	2.4	2.3	2.3	2.4	2.9																	
(前年比)																																
食料	6.8	3.6	2.0	1.7	6.1	5.4	3.3	2.0	2.2	2.0	1.8	1.6	1.7	1.7	—																	
(前年比)																																
アルコール	6.1	4.1	2.1	1.3	5.5	5.2	4.3	3.0	2.8	1.9	1.6	1.4	1.2	1.2	—																	
(前年比)																																
たばこ	7.1	7.7	7.4	8.4	6.5	7.6	8.5	7.1	7.2	7.2	7.8	8.3	8.4	8.6	—																	
(前年比)																																
エネルギー	-9.8	-3.9	-0.0	-2.7	-6.7	-6.1	-3.7	-1.8	-0.6	0.3	0.2	1.2	-3.0	-6.1	-4.6																	
(前年比)																																

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

